

個人会員 米村伍則 (所属:神浦町並み保存会)

所在地: 〒850-5801 長崎県平戸市大島村神浦 52

TEL 0950-55-2487

E-mail: gr475542@gj8.so-net.ne.jp

## ○地区の概要及び団体発足の経緯

平戸市大島村の神浦地区は、平成 20 年度に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

西暦 1600 年頃に門前町として成立した漁村が捕鯨業の創業と廃業を経て再開発され、水産加工業と商工業を主とした近世的な港町へと発展した過程を知ることができ、我が国にとって価値が高いと評価されています。特徴は次のようなものです

- ①江戸初期の鯨組(捕鯨業)の存在
- ②中心部に江戸期の建物が多く残っている
- ③江戸、明治、大正、昭和前期の各時代の特徴を示す建物が残っている
- ④深く湾入した入江(神浦湾)
- ⑤神浦湾に沿って曲折する通りに木造平入棧瓦葺きの町家が稠密に連続して建ち並んでいる。

## ○主な活動

平成 16 町並み勉強会「たからもの会」発足

(20 年度 重要伝統的建造物保存地区選定)

\*町並み再生基盤確立に向け関係団体を発足

平成 20 NPO 文化財匠塾平戸支部発足

平成 21 住民組織・神浦町並み保存会発足

平成 23 技術者集団・あづち大島重伝建作事組発足

平成 27 町並み保存会&作事組協力協定

平成 30 重伝建選定 10 周年関係事業協力



地区内には 282 棟の建物があり、伝建相当 180 棟うち特定物件 133 棟(選定時)となっています。地区人口は 300 名余で高齢化が進んでおり、町並み再生等による地域活性化や交流人口の増加等が課題です。

技術者集団・作事組会員 24 名、毎年 4 棟を修理

▼町並み再生とその基盤の確立に関する課題

- ① 官民の連携と協働
- ② 修理事業を軌道にのせること
- ③ 神浦の特徴と様式を尊重した設計の確立
- ④ 伝建地区の保全・整備を念頭においての修理 →維持 →活用の定着



(神浦地区全景)

## ○その他の活動

大島はスギ花粉が少ないことから、スギ花粉セラピーツアーに取り組んでいます。杉林が少なく、玄界灘に面して陸地側の花粉飛来の影響がほとんどなく、スギ花粉避粉地体験ツアーに参加した花粉症患者の症状が軽減するなどの寛解度が認められています。これは近い将来の花粉症患者の個人滞在の受皿としての空き家の活用を視野に入れた取り組みとして、首都圏等にも参加募集をしています。

その他、町並み見学案内、地区内の活性化小イベントなどに取り組んでいます。

## ○これからの活動

- ①町並み再生基盤の確立・・住民組織としての「町並み保存会」、技術者集団「あづち大島重伝建作事組」等との連携。技術者の確保など。
- ②少子高齢化、過疎化、空き家問題等を踏まえての町並み再生と地域の活性化。
- ③官民協働による町並み再生  
街なみ環境整備事業等を含む官民協働による歴史的町並みの再生、公共工事等に関する住民への説明・情報の公開・共有による共通認識づくりと調整、本物志向の伝建モードの確立



(神浦港を望む)